

けんちく茨城

ARCHITECTURE IBARAKI 2021.10 VOL.107



一般社団法人

茨城県建築士会

<https://i-shikai.com>



けんちく茨城

2021.10.8 第107号

page	目次
01	特集 関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会 茨城大会
08	建築作品紹介 日立市立はなやま認定こども園
10	ようこそフレッシュマン／Welcome Freshman!!
12	先輩会員をたずねて
	支部活動報告
13	筑波支部 ①第2回ヤマモモ狩り ②第1回空き家無料相談会 ③第1回建築パトロール実施 ④「WOOD SHOCKを知る」開催 ⑤2021エリアマネジメント立案ワークショップ
16	土浦支部 情報交換会+企画発表会
	賛助会報告
18	賛助会員企業のご紹介（躯体関連と内・外装関連）
	委員会活動報告
22	情報・広報委員会 茨城県木造住宅耐震診断士 養成講習会
23	女性委員会 わくわくセミナー ①「オフィスの整理術」 ②「これから求められる換気&除菌」 ③「建物改修・活用のための建築法規講座」
26	ラブアークセミナー 「水戸市埋蔵文化財セミナー」
題字	大井川 和彦 茨城県知事
表紙	日立市立はなやま認定こども園 設計・監理 株式会社 三上建築事務所
発行	令和3年10月8日
次回	令和4年2月8日予定
部数	2,200部
発行	一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸 〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330 E-mail kyy05413@nifty.com
編集	情報・広報委員会 川又 晴彦 中山 和朗 児玉 欽司 成田 孝成 大山 早嗣 武居 公江 浅野祐一郎 石黒 幸喜 塙 万治 軽部 守彦 沢畑 一成 山田 一博 中村 正明 谷島 正憲
デザイン・印刷	株式会社 高野高速印刷

特集

関東甲信越建築士会 ブロック会
青年建築士協議会 茨城大会



「茨城大会を目指して」

■ 実行委員長 櫻井 充

2021年6月19日「関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会 茨城大会」は多くの皆様のご尽力のもと開催されました。初のリモート・ライブ配信での開催となりましたが関東甲信越10都県から500名と多くの建築士に参加頂き、コロナ禍という困難な社会情勢の中において我々が今できる最大限の可能性として、内容が濃い有意義な大会となることができました。大会準備含めご尽力頂いた多くの方々に実行委員会スタッフ一同心より感謝申し上げます。また、2018年から始まった大会準備から参加し、コロナ禍という大変な難題、中止宣告・延期・開催と3年に渡り共に共に戦い抜いて頂いた大会実行委員、事務局、協賛企業の皆様心より感謝いたします。大変ありがとうございました。

序 (2018年4月～11月)

2018年4月14日第一回茨城大会実行委員会が開催されました。本来の開催年である2020年を目指して実行委員会はスタートしました。まずは毎月1回以上の委員会を実施するという方針のもと大会テーマ、会場、事業内容、予算、人員等に関する会議が始まったのも覚えています。まだこのころはコロナもなく2020年東京オリンピック年度の開催であることからスポーツ、運動というキーワードと建築士の活動を組み合わせていくという非常にポジティブで熱のある議論が交わされていました。ここでほんやり見えてきた大会テーマが「運動と建築」です。



当時大会会場として選定していた現アダストリアアリーナの施工見学時の様子です。

建設途中段階から2年後の会場を予約し実行委員で見学を行い、大会のイメージを膨らませていました。

破（2018年12月～2020年2月）PR活動～
2020大会開催準備 そしてコロナ禍

2018年11月で事前準備委員会は終了し、茨城大会に向けた実務的な準備委員会がスタートしました。まずは大会の骨格作りと大会PR活動などが開始されました。2019年埼玉大会にて茨城大会のPRを実施する必要があるためどのような演出にすべきかなどもここから議論が始まっています。この時期はやるべき事、課題が山積みでしたが目標に向かって前向きな本当に楽しい議論がたくさんあり、コロナもないのでいろいろなところで打ち合わせができました。

2019年6月埼玉大会が開催され、我々茨城メンバーは大会PRを行ってきました。PRでは大会テーマ「運動と建築」と茨城県発のラジオ体操を合わせ、茨城県庁職員の清水さんの尽力の元、多くの現場で行われている朝のラジオ体操の動画をバックに全員でラジオ体操PRを行ってきました。会場は大いに盛り上がり茨城大会開催のスピードが加速していきます。

2019年6月～2020年2月まではまさに激務でした。やるべきことが山積みで一つ一つクリアして進んでいく状況で大会実施計画を作り上げていきました。2020年2月の理事会にて茨城大会の承認が行われ、会場、宿泊、懇親会等の予約も済み、いよいよ本場に向けて走り続けていました。そのようなときに社会が変わっていきました。



○加藤さん：まちのいずみプロジェクトにて打ち合わせ



○大洗で合宿もやりました。(2回)

運動と建築

MOVEMENT ACTION SPORTS ARCHITECTURE

○大会ロゴデザインもこの時完成しました。



○新しい仲間を求めて現代アート展に出展！！入賞！！

急（2020年3月～2021年6月）コロナ～中止勧告～延期～茨城大会開催

2020年2月6日の関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会にて茨城大会実施内容が承認されました。このころニュースに出始めたのがコロナウイルスとなります。世間的にも楽観視した状況があり茨城大会開催に関して影響はないだろうという状況でした。ところが3月に入り社会的な状況は徐々に厳しくなっていきます。実行委員会の内部においても危機感が募りこのまま開催できるのか、そもそも委員会活動自体が危険ではないかという不安がありました。

2021年3月末多くの議論ののち、大会開催3か月前で中止となりました。議論においては今年度中止で延期という話し合いがあったため。私自身1年延期という気持ちでどのような開催にすべきか実行委員会にて話し合っていました。ここからの数か月は私自身に理解ができないことだらけでした。まず中止決定が正式に決まるまで2か月かかり、本来の大会開催直前で正式に中止という文章が作成されています。また茨城大会は中止、来年は長野大会という話もあり、我々実行委員や大会に関わってきた人間の意見の届かないところで多くのことが決定されていました。中止なのか延期なのか、長い長い戦いです。1年延期のお願いを6か月繰り返していました。関ブロ会長へ直接説明する機会を得られ群馬まで副委員長の藤田さんと共に伺ったのもこの時期です。

2020年12月茨城開催の実施が正式に決定されました。3月に中止が決まってから9か月後に1年延期の正式決定を得られました。とても長い戦いだったと覚えています。

「茨城大会を目指して」山あり谷ありと色々なことがありましたが、ようやくスタート位置に我々はたどり着きました。ここからはこれまでやったことのないリモート・ライブ配信大会に向けて今できることをやろうという「UN→DOと建築」です。なんでも否定（UN）するのではなく、前へ（DO）進もう、コロナ禍の情勢や大会開催までの道のりを表すような大会テーマに変わりました。「前に進む気持ちをもって何があるかと負けていられない。」そんな気持ちだったと思います。

2021年6月19日茨城大会開催。

ご協力いただいた協賛企業の皆様、運営を助けて頂いた多くの方々大変ありがとうございました。リモート運営、ライブ配信という困難な状況において大会開催を可能とする技術協力・運営サポートを頂いた（株）インテグラル様、担当の松崎様ありがとうございました。

最後に3年という時間を大会開催を目指して歩んで頂いた実行委員の皆様大変お疲れさまでした。困難なことも多くありましたが素晴らしいチームで大会が開催されました。ありがとうございました。

UN→DOと建築

UNDO AND ARCHITECTURE

○大会テーマ変更により、ロゴも刷新しました。

関東甲信越建築士会ブロック会 茨城大会 実行委員名

櫻井 充	・	住谷 将旨	・	一色 信宏	・	橋本 珠美
藤田 康広	・	谷田川 治彦	・	茂垣 直樹	・	長山佳奈枝
横須賀 孝	・	加藤 雅史	・	君島 拓也	・	黒澤 航太
根本 周作	・	清水 智之	・	小貫 弘巳		
早川 敏史	・	大鐘 孝弘	・	桑原 文子		
菅澤 達行	・	近藤 康範	・	浜中 本子		



第1分科会 報告書

■ 埼玉建築士会 島田 義信

第1分科会は、各都県の活動報告が主となっており、少しでも多くの方に参加していただき素晴らしい発表内容を聞いていただく、また自都県での活動の参考にと願って例年開催されております。

今大会のテーマは「UN→DOと建築」です。2020年初頭より世界中で猛威を振っているコロナウイルスの影響下においてこれまで、直面したことのない状況にあります。社会的な閉塞感や、先の見えない状況に置かれた今、「でどうするのか」という所を我々建築士が考えていきたいという想いのなか、感染拡大防止の観点から、参加者は集まることはなく、YouTubeやZoomを利用した、オンライン配信を用いた形で開催されました。事前収録だからこそできる趣向に凝った動画は、今まで以上に人の心を惹きつけ印象に残るプレゼンテーションでした。評価方法は参加者が「自分の都県に持ち帰ってやってみたい」という観点で特に、期待感、将来性のある提案への評価をし、YouTubeの「グッド」の数で競われました。結果、「グッド」の数の多い順に金メダルは長野県、銀メダルは同票で新潟県と山梨県ということでしたが、多様な活動内容は、各都県に持ち帰るにあたりメダルの色に関係なく各都県の活動の参考になったのかと考えています。

発表内容に関しては全体として、大きく二つの活動の方向性がみられました。一つ目は、学生や子供向けの活動で将来の建築士を育て建築に興味もってもらう活動です。二つ目は、コロナ禍でも積極的な

活動を行う屋外開催やリモート開催の活動です。

一つ目の方向性としては高校生に焦点を絞った東京都の活動は特筆すべき活動です。高校生へ向けたワークショップは子供向けの視点とは異なった、現実的で具体的なテーマの内容、そして受験予備校とのコラボレーションなど多くの新しいチャレンジされた事業と考えられます。二つ目の方向性としてはコロナ禍でも活動可能な屋外活動という観点で神奈川県「フォトログ」も特筆すべき活動です。屋外の活動でスポットを巡りながらゲーム性をもたせエリアの建築に興味をもたせ、かつ、建築士会の活動を知ってもらう内容でした。前回大会の発表でも「フォトログ」でした。時間をかけ、とても綿密な事前の資料づくりも大切だと感じました。コロナ禍でなくとも、各都県で持ち帰ってもらうことも可能だと考えます。その他、地方活性化が叫ばれるなか新潟県の学生を地域の会社へ就職斡旋する活動は、地域で活躍できる人材を育て建築業界を盛り上げる観点からとても大切な活動だと考えられます。コロナ感染拡大防止を踏まえ、継続して活動することも良いことだと考えます。

最後に、準備や運営にご尽力いただきました茨城県建築士会の皆様に感謝申し上げますとともに、参加者の皆様が各建築士会の多様な活動を把握し、発展的な未来の建築士会の活動を考えることを願い報告とさせていただきます。



第2分科会 報告書

■ 栃木建築士会 安藤 崇之

第二分科会は、コロナ禍の社会情勢において行動が制限されているなか、「他県の取り組みを自県に持ち帰る」ことを目標として、他県を知るという点に着目した映像作品での開催となりました。お昼時間のプログラムという事もあり、「食」と「建築」を組み合わせた「BE N→TOと建築」という題目で、各都県の魅力的な食と建築が紹介され、コロナウイルス感染症収束後の各都県への訪問意欲を強く掻き立てられる内容でした。

各都県のこれぞというご当地の「食」と「建築」を組み合わせた7分間の番組により、10都県をめぐる旅を疑似体験することが出来ました。TV番組さながらのレポートやカメラワーク、編集まで、初めてのWEB開催と思えないほどのクオリティで、まるで旅番組を見ているような感覚でした。

各都県の歴史的建築物や近代建築、新建築に加えて、リノベーション建築や観光名所といった新旧さまざまな建築物の紹介とご当地グルメや名産を使用したお弁当などのローカルな情報が満載でした。各都県が設定したタイトルに沿って「食」と「建築」を紹介してくれましたが、支部毎に紹介を行った県もあり、県を代表するような建築や有名なお弁当だけでなく、支部毎の魅力を知る事が出来ました。

それぞれ、別のものととらえていた「食」と「建築」ですが、第二分科会の映像を通して、両者のつながりを強く感じる場面もあり、新たな視点で建築を考える良い機会となりました。

まだまだ、コロナウイルス感染症の収束が見えない状況ではありますが、以前のように気軽に県をまたいだ移動が可能になりましたら、是非、直接現地に足を運んで今回紹介された魅力的なご当地の「食」と「建築」を楽しんで頂きたいと思えます。



第3分科会 報告書

■長野建築士会 清水 麗嘉

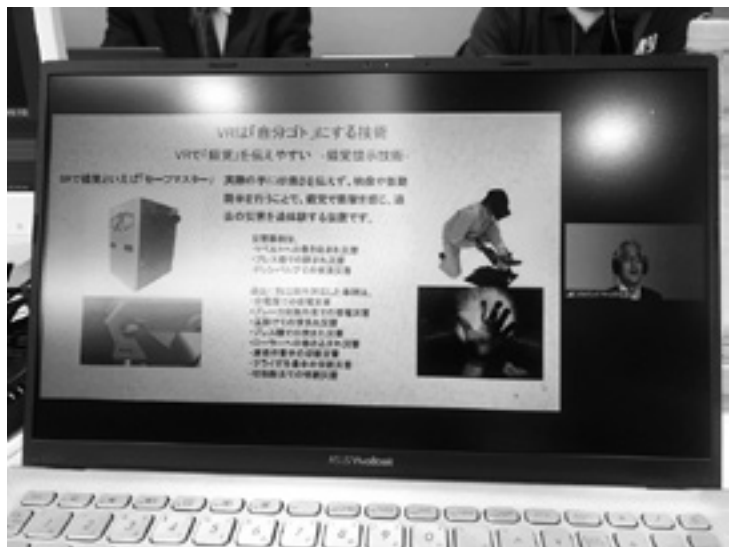
第3分科会は、関プロ青年協企画としてブロック活動創造部会を中心に企画・準備を行い、『VRと我々の生活環境との関わり合い』について幅広く学べる場となりました。

新型コロナウイルスにより、昨今、働き方や人との接し方の変革が求められ、リモート会議や遠隔指示を導入する中、バーチャル空間VRが実用的なツールの一つとして注目されています。

講師には日本バーチャルリアリティ学会理事でもある株式会社ソリッドレイ研究所の今村伊知郎先生を迎え、前半は講演を、後半はパネルディスカッションを行いました。

講演では、VRとはどのような技術なのか、VRの構成要素とは何か、という基本的な内容をはじめ、VR技術が役立てることの出来る事例として、①災害対応訓練とVR②不動産テックとVR③運動とVR④合意形成⑤音のVR、を主なテーマとして、VR技術が現時点で出来ること、苦手なことなどを多くの実施例と合わせて分かりやすく説明して頂きました。結局のところ、「VR技術の向上」とは「人間を知ろう」に行き着くというお話は印象的でした。

パネルディスカッションでは、株式会社コンピュータシステム研究所の坂井俊雄先生と茨城県東海村役場の近藤康範様にもゲスト参加して頂き、建築実務の観点から今後の展望などについて意見の交換をして頂きました。VRの成り立ち、データの種類の違い、CADとVRと現場、それぞれのデータなどを具体的なプレゼンソフトを例に紹介して頂くと共に、「せっかく3Dで検討しても最後は2D図面」「2Dの良いところを残しつつ3D活用は思いのほか鈍い」「VRはあくまでプレゼンツールの先にあるもの」など実務者としての意見を交わしていました。より現場に役立つVR技術をどのようなサービスに仕上げていくか？VRの要素技術である3Dの現場での活用にはまだまだ進化の必要がある



ようです。最後に今村先生より建築士に望むこととして、「こういったVRが欲しい」と言って欲しいとの要望も頂きました。

今回約120~130名の方がYoutubeで視聴参加頂きました。リモートでは伝えきれない部分もあり、例年のような開催であれば、現地でVRを体験して頂きたかったところですが、リモートで出来る限りのことはお伝え出来たかと思います。今後、参加された方の仕事や生活に於いて、この講演が活かされ役に立つ時が来ることを願います。

最後にご協力を頂きました講師の先生、ディスカッションに参加頂きました皆様、準備や運営にご尽力頂いた茨城建築士会の皆様、無事開催出来ましたことを感謝申し上げます。



建築作品紹介

里山の子どもたちの家

「里山の子どもたちの家」コンセプト

敷地は海に向かって緩やかに傾斜する山坂の中腹にある。周囲はかつての新興住宅地である。ここにいる子ども園を山並みに抱かれた子どもたちの里山の家にしようと考えた。

「園舎が園庭を囲む」配置計画、平面計画

新園舎は東南の園庭（既存園舎部分）を囲むL型とし、西側に小さな子どもたち（0歳から2歳児）の保育室と玄関・職員室、北側に大きな子どもたち（3歳から5歳児）の保育室と遊戯室を配置した。L型のヒンジの部分は2階建てとして、1階に給食室、2階に子育て支援室を設けた。

「里山の集落のような佇まい」空間構成、断面構成

保育室は1室ごとに屋根を設けて、里山に民家の家々が建ち並ぶ様にした。北側の大きな子どもたちの家は南北方向の棟をもつ切妻、西側の小さな子どもたちの家は方形の屋根として、園庭に面する下屋がすべての家々をつないでいる。

その下屋は天井高を低く抑え、子どもにふさわしいスケールの空間とした。下屋の下にはそれぞれ1間の幅をもつ廊下と濡れ縁が通り、さらに外

に1間の軒下空間がある。保育室・廊下・縁側・濡れ縁・軒下・園庭と多層のレイヤーが重なり、保育室から園庭までゆるやかにつながる。

「木造とRC造のハイブリッドによる

木材現しの架構」構造計画、内部計画

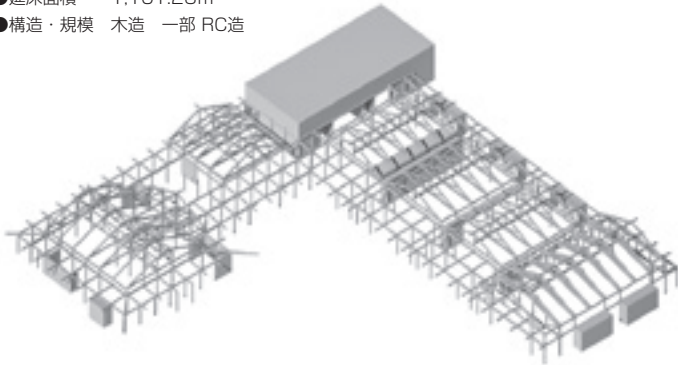
現代の一般的な材料・技術を活用して、かつての里山の民家のような佇まいをつくることにした。

里山の民家のような佇まいを創るために基本構造は木造とし、2階建て部分をRC造とした。このRC造部分を耐震要素としながら、更にRC造の耐震要素を分散して配置することで、園庭に面する下屋部分に筋交いや壁面をなくし、懐かしい様相を目指した。

架構は一般流通材で造ることを前提に、それぞれのスパンに合わせた架構形式を採用した。間口4間の大きな子どもたちの家はキングポストラスとし、間口5間の遊戯室はシザーストラスである。複雑な屋根形状の小さな子どもたちの家は棟付近に2本のキール梁を掛け、そこから軒桁に向かって梁を掛け渡す方式とした。母屋を含む全ての架構を現しとするため、天井仕上材は母屋間に設けた。

■建物概要／日立市立はなやま認定こども園

- 所在地 茨城県日立市金沢町2丁目10番23号
- 設計・監理 三上建築事務所
- 建物用途 認定こども園
- 敷地面積 3,122.19㎡
- 建築面積 1,024.37㎡
- 延床面積 1,101.23㎡
- 構造・規模 木造 一部RC造



構造アクソメ



配置図



断面図

「木造の認定こども園」

本事業は、少子高齢化・人口減少が進行するに伴い、子ども・子育て支援政策、公共施設の適正化政策の一環として、旧はなやま幼稚園と旧金沢保育園を統廃合してはなやま認定こども園を設立するものであった。

日立市では初めてとなる新築の公立認定こども園であることから、その期待は大きいものであり、木造建築の魅力をも十分に活かす施設とし、公共施設の木造化の推進力となることも期待されていた。

子どものための施設であるということ、木造であるということから導き出したのが「里山の子どもたちの家」である。

かつての民家のように母屋と下屋からなり、廊下・濡れ縁・軒下が園庭と保育室を緩やかにつなぐ。このこども園では、子どもたちが緩やかにつながった内外の空間を自由に行き来し、生き生きと過ごしている。コロナ禍の今も、子どもたちの元気な声が地域に響いている。

(三上建築事務所 大井 友彦)



Welcome Freshman!!



樋口 諒 37歳
支部名：筑波支部

- ①樋口 諒 37歳 筑波支部
- ②株式会社フケタ設計 茨城事務所
- ③この度茨城県建築士会に入会させていただきました樋口と申します。
つくば市在住1児の父で最近ではキャンプに良く出かけています。
つくばに住み始めて5年程ですが今年から消防団に入団し初めてのことに戸惑いながらも日々邁進しています。
どうぞよろしくお願ひ致します。
- ④交流・講習会などを通して経験や知識が深められればと思ひ入会致しました。
- ⑤講習会、見学会、地域貢献活動などに参加できればと思ひます。
- ⑥多くの人に喜ばれる設計ができるよう勉強していきたいです。

- ①松田 智徳 26歳 筑波支部
- ②株式会社 東京設計事務所 上下水道施設の設計
- ③建築士会の筑波支部に入会させていただきました、松田智徳と申します。父も筑波支部に入会していますので、親子ともどもよろしくお願ひします。
- ④建築士会の活動を通じて、様々な職種の方々と意見交換をし、技術者としての視野を広げていきたいと思ひます。
- ⑤みんなで日光浴
- ⑥常に時代のニーズを取り入れられるよう、視野の広い、柔軟性のある建築士を目指していきたいと思ひます。まずは、1級建築士の取得を目指します！



松田 智徳 26歳
支部名：筑波支部



- | | |
|--------|----------------------|
| ①氏名・支部 | ④入会の目的 |
| ②勤務先 | ⑤建築士会に期待する活動・参加したい活動 |
| ③自己紹介 | ⑥建築士として将来の目標 |



浅野 高宏 33歳
支部名：筑波支部

- ①浅野 高宏 33歳 筑波支部
- ②平成21年に建築系専門学校卒業後、設計事務所・工務店を経て外構職人に8年就き、今年の4月に浅野物産株式会社に入社し、建築部に所属しています。
- ③これまでに培ってきた知識や経験を今の仕事に反映しながら、新しい知識を身に付けられるよう日々精進しています。
- ④多くの方々と交流を深め、自身の見識を広げたいと思います。
- ⑤講習会や見学会など
- ⑥職人としての経験を活かし、新しいアプローチをしていけたらと思います。

- ①竹山 博史 66歳 常総支部
- ②PC建築專業者・建物調査会社等を経て独立し、「建築オフィス・TAKEYAMA」を開設しました。
- ③サラリーマン時代は、長年にわたりPC建築の設計や建物調査の仕事をしてきました。定年を機に独立し、建築事務所を立ち上げました。皆様よろしくお願いたします。
- ④情報入手と会員の方々との交流が入会の目的です。
入会後は、親睦ボーリング大会、建築パトロールにも参加させていただき、会員の方々が親しく活動されていることを実感しました。
- ⑤講習会や見学会等、建築に関する情報共有できる活動を期待します。
防災・減災活動などを中心に積極的に参加したいと思います。
- ⑥建物の調査改修業務等、個人資産・社会資産の維持向上に関わる業務を進めていきたいと思っています。



竹山 博史 66歳
支部名：常総支部

建築塗装・防水工事・広告看板

熱を消す不思議なハイブリッド塗料 **「熱交換塗料・タフコート」**
暑さ・ECO(電気料金の削減)対策! ・炎天下のアスファルト・プールサイドも素足で歩ける

株式会社 タケイ・アーツ

■ TEL 0299-23-1738 ■ FAX 0299-24-2552 ■

先輩会員を訪ねて



「思いつくままに」

増澤 敬氏 (県庁支部)

昭和17年生まれ/昭和52年入会/会員歴43年

長野県岡谷市出身。都内の大学を修了し、1969年茨城県に就職。退職後、茨城県建築センター、日立建設設計を経て、現在はJ A茨城県厚生連に勤めています。

県に就職するきっかけは、筑波研究学園都市の外延部に点在する旧市街地の整備計画プロジェクトにかかわったことです。

配属は、企画開発部門ではなく、土木部建築指導課の宅地グループを振り出しに、以後、建築、住宅、営繕行政に携わり、これらの業務を進める中で建築士会員の方々と親しく仕事をさせて頂いたことを思い出します。

建築に係わる仕事であれば好んで携わってきた私ですが、今はCAD操作に魅せられ、診療所や病院の改修計画の基本図等を作成しております。

他方、県庁時代から油絵を趣味としていましたが、風景画、静物画、人物画等を士会美術展に出品し会員との交流を図ってきました。

7年前に制作した自画像(写真)を、画材店のご主人の勧めもあって、都立美術館で開催される全日肖展に応募したところ入選し、全日本肖像美術協会の準会員に推挙され現在に至っています。

茨城県建築士会の益々のご発展をお祈り致します。



情報交換会 + 企画発表会を終えて

鈴木 政保氏 (日立支部)

昭和14年生まれ/昭和55年入会/会員歴41年

【主な経歴】

昭和33年高校を卒業後、日本経済不景気は鍋底景気のさなかにあり、就職は困難な状況でありましたので上京することになり、国際自動車株式会社に入社いたしました。その後自動車教習所の指導員の資格を取得し教習に励みました。昭和45年に帰郷して、義兄の経営する工務店に大工として入社してから、昭和59年1月に鈴木工務店を立上げ、昭和54年11月に二級建築士の免許を取得し、昭和55年豊浦建築設計事務所を開設してから、茨城県建築士会に入会いたしました。

【士会に入会して良かったこと】

免許更新のための講習会が開催された会場において、親しい友人と再会の機会を得ることが出来たとき、日本経済の現状や講習会の意義など話し合いの喜びを得ることが出来ました。試験の内容においても、建築士の国民に対しての役割を考える機会として良いことです。

【士会の活動で印象に残ること】

既存住宅状況調査が施行された前後において、建築士会及び日立市役所建築指導課との行政の一事業として、西成沢地区に存在する中古住宅2棟を調査の目的として提供され、これを調査の題材として、建築士会及び茨城大学生徒達と住宅の主要構造部の役割や、耐震・風圧力に対する筋違のはたす役割の大切さ等を学生に説明すると共に、士会の私にとっても勉強になりました。このような事業計画を数多く設けていただきたいと思います。

【趣味】

ゴルフです。私は61歳から始めました。高校時代の友人とコンペを行うことが楽しみの一つです。友達の「仲間」には校長を歴任された方や、日立市役所の部長を務めた方々が一緒になって話し合いながらプレーすることが楽しみの一つです。

① 第2回ヤマモモ狩り

■筑波支部 青木 孝二

6/26（土）会員の株式会社中泉建設敷地内にて、二年ぶりにヤマモモ狩りしました。

ヤマモモ狩りの時期は、天候の状況により日程調整が難しいのですが、FB等にて告知し、会員の皆さまや家族にて開催しました。

ヤマモモ狩りは（仮称）農藝委員会（農業と藝術

を考える委員会で2022発足予定）より、今年より通年イベントとして考えています。

採ったヤマモモは、自宅でジャムや果樹酒などにして楽しんだようです。



② 第1回空き家無料相談会—つくばみらい市—

■筑波支部 斉藤 保弘

令和3年度つくばみらい市空き家無料相談会を7月10日（土）、つくばみらい市役所伊奈庁舎2階相談室において13時から16時まで行いました。

筑波支部会員2名（松田祐光・斉藤保弘）とつくばみらい市開発指導課空家対策室より2名の他、茨城司法書士会2名、公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会 県南支部2名の参加をいただき、無料相談会を実施いたしました。

相談者には事前予約をしていただき、持参した資料等を基にグループごとに各相談員がアドバイスをを行います。

2ブース計5組の相談がこの日実施されました。

最近では土地建物売買価格や解体工事費または、除草作業や樹木の選定作業などの空き家となっている建物の他、敷地内の管理費用など、より現実的な相談が多いようです。市では、空き家バンク登録物件数をもっと増やす動きへとシフト化しています。

今後もつくばみらい市と筑波支部会員の皆さまと共に、相談会や耐震啓発の事業を行い、広く一般の方々に建築士会の活動に目を向けていただきたいと思います。



③ 令和3年度 第1回建築パトロール実施

■ 筑波支部 増田 和頼

今年度1回目を、7月16日(金曜日)AM9:00~PM17:00に行いました。

- ・北地区(筑波・大穂) 3名、調査件数 39棟
 - ・中地区(桜・豊里) 3名、調査件数 44棟
 - ・南地区(谷田部・荃崎) 3名、調査件数 52棟
- 3班9名、パトロール車両3台で行いました。

調査した建築物は135棟で、違反等の建築物は確認されませんでした。

例年通り各班4名を予定していましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の対策として人数を少なくし、マスクを着用。そして現地では、人との接触をできるだけ避けた調査となりました。

つくばみらい地区においても同日実施いたしました。5人の参加で、46棟の調査を実施いたしました。

今回、ご協力頂きました会員の皆様、ありがとうございました。



④ 研修会「WOOD SHOCKを知る」開催

■ 筑波支部 沖山 素子

地元の製材所から学ぶ今後の木材の可能性について

7月21日に開催された丸川木材(株)での研修会「WOOD SHOCKを知る」に参加しました。次世代のために森を育てることの大切さを強く感じさせる貴重な時間でした。まずはウッドショックの現状や森を育てることが環境や社会の循環を促す話を聴きました。八溝山や近隣の優れた県産材を確保できる茨城県。他県に比べ比較的影響が少ないとのことですが、新型コロナウイルスの影響も含め今後の対応について考えさせられました。

製材工場では原木の皮むき、製材及び乾燥、ヤング係数等の測定からJAS規格の印字までの工程を見学しました。工場見学後は枝打ち体験。整然と美しく整備された森は節の少ない材を育てる為であり、更に災害から人々を守ってくれるとのこと。今回の研修会を通して県産材の素晴らしさを実感すると共に、家造りのネットワークを建築士、施工者、更に製材所を加え、木材のブランド指定することによる木造住宅の可能性の広がりを感じました。



⑤『小田の国 2021未来会議』エリアマネジメント立案ワークショップ

■筑波支部 松田 祐光

市民、行政、それに関わる建築士との協議調整などの仕組づくりを行うことを目的に、2021エリアマネジメント立案ワークショップ スタートしました。第1回（エリマネって?）は、コロナ感染拡大中のためオンラインで7/31（土）開催。第2回は、8/29（日）「小田国散歩」と題して開催予定です。

2021年度は、つくば市周辺市街地・R8（北条、小田、大曾根、吉沼、上郷、栄、谷田部、高見原）の小田をフィールドとし数回ワークショップ開催し

たのち、地域構想を立案するものです。

参加メンバーの役割としては、ディレクター、プロデューサー、ファシリテーター、ネゴシエーション、デザイン、コーディネーターとなります。

従来の建築士といった職能の他、調査・分析、マスタープランの作成、音と空間のデザイン、空き家・空き店舗等の計画調整から利活用までのマネジメント、イベントを構想し、まちづくりにかかわっていききたいと思います。



豊かな技術で未来を創造する

●パイル製品 (FC 強度 123N)

- 摩擦杭 (BF) Hi-SC、SC、DAM、SL、PHC、MS-ST、TP ジョイント (無溶接杭)
Hybrid ニーディング工法 (施工品質管理強化高支持力杭工法 $\alpha=336 \sim 880$)
- 特認工法 Hybrid ニーディング工法II (施工品質管理強化高支持力杭工法 $\alpha=350$)

SUPER ニーディング工法 (高支持力工法 $\alpha=425 \cdot 600$)、SUPERDANK 工法 (中掘高支持力工法 $\alpha=425$)、ニーディング、NEW ニーディング、ST ニーディング工法、DANK、STJ 工法 (中掘拡大根固め工法)、BFK 工法 (異形摩擦杭確定工法)、Lev-Pile 構法



三谷セキサン株式会社

茨城営業所 〒310-0062 茨城県水戸市大町3丁目1-26 (岡崎ビル) ☎(029) 221-7768 FAX (029) 221-7749
 東京本社 〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目19-6 (柳橋ファーストビル9階) ☎(03) 5821-1120 (代) FAX (03) 5821-1121
 福井本社 〒910-0857 福井県福井市豊島1丁目3-1 (三谷ビル) ☎(0776) 20-3333 (代) FAX (0776) 20-3334

事業所：福井 (福井・金沢・七尾・新潟)、東京 (東京・茨城・埼玉・千葉・横浜・仙台)、札幌、大阪 (大阪・京滋)、名古屋 (名古屋・静岡)、中四国 (岡山・愛媛・広島)、九州 (福岡・熊本・佐賀・鹿児島)

<http://www.m-sekisan.co.jp/>

情報交換会+企画発表会を終えて

今年度、土浦支部女性部では新入会員の方がいらっしゃらず、新入会員歓迎会+企画発表会は、情報交換会+企画発表会となりました。

昨年度はコロナ禍で、見学会や手作り教室といった対面の行事が中止となっしまい、また、オンラインの講演会では、最近どう？という参加者同士のおしゃべりが出来ません。

この会では、女性部の魅力である「仲間同士の楽しい交流」を、オンラインでいかに実現させるか、がテーマであったように思います。

話の弾む楽しい交流の場に、美味しい食事は欠かせません。

会員の橋本珠美さんが妹さんと共同経営されている飲食店「EAST BASE」さんにオリジナルお弁当（デザート付！）をお願いし、役員メンバーの協力のもと、参加者にお弁当を配達しました。

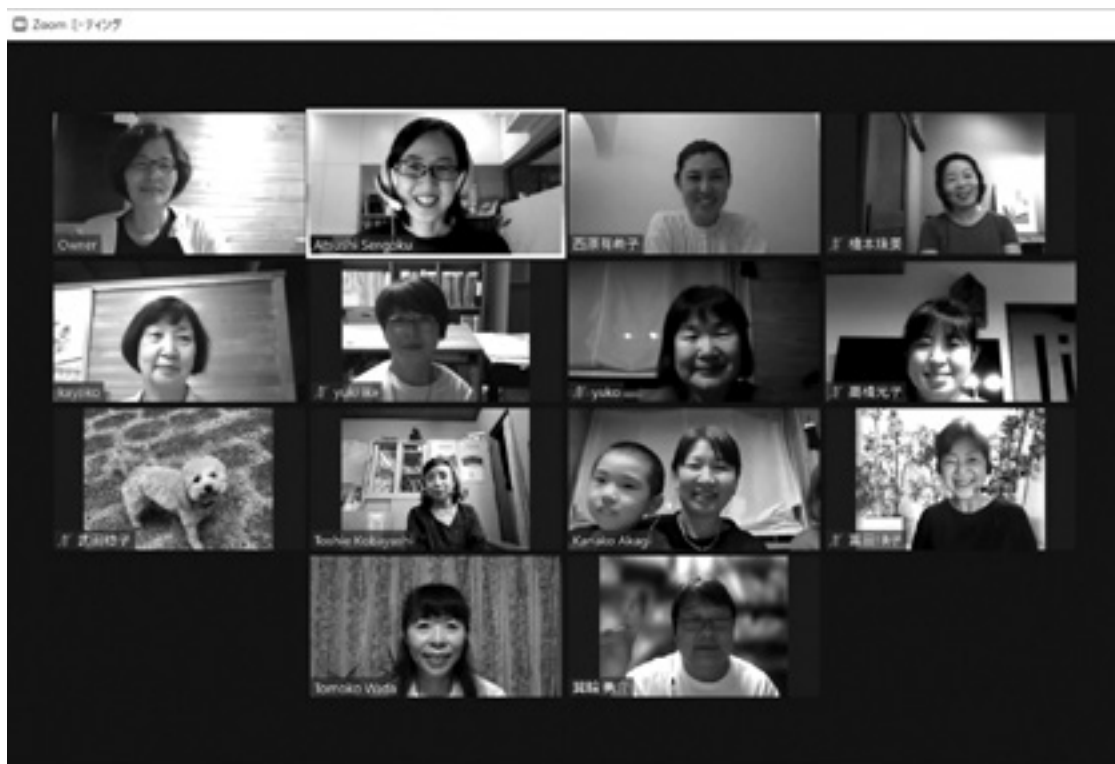
Zoomを使っての会がスタート。

15人の参加者全員がスムーズに参加いただけました。

ドリンクは各自準備してもらい、「乾杯！」



食事の間はお弁当のメニュー紹介や質問など自由に発言。女性部年間企画発表も行いました。食事タイムが終わると、一人ずつ近況報告もいただき、その後はZoomの「ブレイクアウトルーム」という機能を使って4~5人のグループに分かれて、グループ内でのおしゃべりを楽しみました。グループのメンバーを変えて2回、各15分程度、それぞれのグループで様々な話題に花が咲いていました。オンラインでも「仲間同士の楽しい交流」が実現できた会になったのではないのでしょうか。



建築士
受験を検討されている方へ
日建学院で、本気で合格を目指してみませんか？

通学するなら合格できる学校へ

合格への最短距離

まもなく
開講!!

2022年度

1級建築士学科コース
2級建築士学科コース

茨城県建築士合格者

2020年度占有率

1級建築士
合格者

64.1%

2級建築士
合格者

61.3%

外部評価で三冠達成

日建学院は、客観性・公平性の高い第三者の調査機関より
下記の3つでNo.1の評価をいただきました。



日本マーケティングリサーチ機構 調査概要:2020年4月期、ブランドのイメージ調査

1級建築士 合格実績

No.1

日建学院 平成元年~令和2年の合格実績
1級建築士 91,703人
(全員累計 162,103人)

当学院の1級建築士
合格者占有率

56.6%

この32年間に誕生した1級建築士の
半数以上が日建学院の受講生です!

※上記全国累計は(公)財「建築技術教育普及センター」発表試験結果(1989~2020年)のデータです。



まずは一度学校見学会に参加してみてください。
とても明るくきれいな学校です。(スタッフも親切です)

下記へ必要事項をご記入いただき、FAXをお願い致します。お電話でもお受け致します。

資料請求・お問合せ

日建学院 水戸校
〒310-0852水戸市笠原町978-27 IPICビル3F
TEL.029-305-5433
FAX.029-241-5128

日建学院 つくば校
〒305-0008 つくば市流星台33-1
TEL.029-863-5015
FAX.029-857-1756

資料請求 説明希望	<input type="checkbox"/> 資料請求 <input type="checkbox"/> 講義内容・学校見学希望		
氏名		TEL	
住所	〒		
E-Mail			
お勤め先			

※個人情報の取り扱いについて、当社では、ご提供いただいた個人情報をお客様へのご連絡・商品の発送のほか、弊社のサービス・商品等のご案内を目的に利用させていただきますので予めご了承ください。
※ご許可のないまま送信させていただきましたが、ご迷惑の際は平にご容赦いただけます様よろしくお願いたします。



今回は躯体および内・外装関連の賛助会員企業の皆様をご紹介します。
次号は金属・建具・金物・ガラス・電気・給排水・冷暖房関連の企業をご紹介します。

賛助会員企業のご紹介【躯体関連】

よみ	事業所名	電 話	主 な 業 務 内 容
あ	アイ・アール(株)	029-869-5400	外壁補修工事(亀裂補修、浮き補修)、X線探査、コア穿孔工事、赤外線調査(外壁調査)、打診調査、ダイヤモンド工具販売
	アオキ(株)	0299-22-2226	特定建設業・耐震診断・リフォーム・太陽光発電
	(株)アルク	029-246-9511	地盤調査・地盤改良工事
い	茨建工業(株)	029-862-3585	建設業(特定建設業) 雨水貯留浸透施設工事(A G 工法)
	茨城県鉄筋業協同組合	029-244-7155	技能検定受験のための講習会の実施、会員相互の親睦と交流、県内4ブロックに分けて地区毎の情報交換
	(株)茨城県南木造住宅センター	029-852-8010	土木建築工事請負、建築設計・管理、建築にかかわるコンサルタント 建築資材生産、加工。販売、不動産売買、仲介
お	(株)岡村地質	0299-26-5717	土壌調査一般、地質調査
か	(株)角藤 水戸支店	029-225-2077	基礎・サッシ・外壁・仮設等の建築土木資材の施工・販売、鉄骨・橋梁の設計・加工・施工・技術サービス
	(株)関東エンジニアリング サービス	029-252-8870	鉄骨溶接部の検査、鉄筋圧接部の検査、RCコンクリート造の内部調査
く	クラウン工業(株)	029-862-4370	環境保全型地盤改良の(エコジオ工法)と地盤調査、他、ブラシキ・土留め仮設材をリース及び販売
け	(株)建友	029-247-8405	土木・建築資材の販売
さ	(株)サムシング つくば支店	029-869-9700	地盤調査、測量調査、地盤改良工事、沈下修正工事
	(有)三企地盤	029-269-9230	住宅・店舗の地盤調査、地盤補強工事、沈下修正工事、瑕疵担保責任保険取次
し	ジャパンパイル(株)東京支店	03-5843-4193	基礎工事関連事業及びコンクリート杭製造等
た	(株)第一工業	047-328-1551	地盤改良、地盤調査
	高橋商事(株)	029-269-3066	管工事業・上下水道工事業・LPガス販売・液化石油ガス設備工事、昭和シェル石油(株)販売店・石油製品販売
ち	秩父ケミカル(株) 北関東営業所	029-305-3650	雨水貯留浸透施設「ニュートレンチくん」製造・販売
	千代田工営(株) 茨城事務所	029-350-4191	基礎杭施工・地盤調査・測量調査・環境対応事業
ひ	ビイック(株)	03-3947-5800	表面波探査法による地盤調査
ほ	(株)北雄産業 東京営業所	03-6666-9421	各種既成コンクリート杭、羽付鋼管等の製造、販売、施工
ま	前田製管(株)茨城支店	029-305-3371	PHC杭等製造・販売、杭工事、コンクリート2次製品製造・販売
	(株)松本総建	029-295-7715	鳶、土工、土木工事
み	三谷セキサン(株)茨城営業所	029-221-7768	コンクリートパイル製造販売、杭基礎の設計・施工
ゆ	(株)弓削コンクリート工業所	0299-45-7520	プレキャストコンクリート製品の製造・販売
ら	ランドスタイル(株)	0276-57-6661	地盤調査、地盤改良工事、地盤保証、沈下修正工事、土質調査など地盤関連業務全般

賛助会員企業のご紹介【内・外装関連】

よみ	事業所名	電 話	主 な 業 務 内 容
あ	アイジー工業(株) 東京営業所	03-3556-0341	建築用断熱外壁材(金属サイディング、金属サンドイッチパネル)、及び金属屋根材の研究開発・製造・販売
い	茨城県瓦工事業組合	0296-72-0843	会員の事業に関する経営及び技術の改善向上に関する知識の普及及び情報の提供
	茨城県板金工業組合	029-254-6120	内外装建築板金等
う	植田防水工業(株)	029-227-4181	防水工事業、塗装工事、左官工事、屋上・壁面緑化
お	大阪ガスケミカル(株)	03-6661-9246	木材保護塗料、シロアリ防腐剤の製造・販売
き	(株)菊正塗装店	029-291-8775	塗装業全般
こ	小西(株)	0296-32-3063	鋼材、建材卸・屋根、金属、家具工事
し	四国化成工業(株)	043-306-4401	外構製品、内・外・舗装材を取扱う建材のメーカーとなります
た	大建工業(株)水戸営業所	029-248-8511	建築資材の製造および販売
	(株)ダイワ商会	029-251-4013	内装仕上げ工事業及び造作家具工事
な	(株)奈良屋	029-241-5141	ALC工事・防水工事・外装工事・金属工事・吹付工事・床工事・タイル工事・屋根工事・内装工事、断熱工事・建具工事・基礎工事
に	(株)ニチベイ 水戸営業所	029-305-3501	窓廻りと間仕切の製造・販売
ね	(株)根子左	029-241-4057	左官工事・塗装工事・リフォーム工事業
は	(株)埴商事	0294-42-4090	ヘーベル工事、ベースバック工事、アスロック工事
ほ	ホクヨープライウッド (株)東京工場	0280-97-3025	合板の製造販売。型枠用塗装成型合板、内装用成型合板、国産材成型合板、防災合板、難燃合板、各種合板加工品、国針葉樹構造用合板
も	(株)森久	0299-56-4474	内装用不燃・準不燃木木材の生産と加工
や	柳澤工業(株)	029-862-4711	防水・塗装・外壁改修工事
り	(株)LIXIL 水戸営業所	029-307-4003	住宅設備機器、サッシ、リビング建材、エクステリア商品の製造及び販売
わ	和知商事(株)	029-224-6361	地盤改良・基礎杭・耐火被覆・ALC・パーテーション・OAフローア・サイン・屋上緑化・壁面緑化・雨水貯留層・ソーラー照明・太陽光発電・各種舗装材・フェンス・シェルター・公園資材・各種コンクリート製品

富士カントリー笠間倶楽部 

おかげさまで
みなさまに愛されて43年

〒309-1602

茨城県笠間市池野辺 2523 番地

TEL 0296-72-8111

FAX 0296-72-8534

URL <http://www.kasama-club.com>

※オンライン予約も承っております



CRAFTSMAN
WE BUILD PRIDE



珪藻土配合漆喰壁エコ・クィーン
特殊大面積床仕上げK L工法
特殊打放し風仕上げS F C工法
外断熱構造左官仕上げ
アドグラピネット工法
R Cウォール工法
リフريت工法
リポール防水



根子左ホームページ
施工内容を御覧下さい。

左官工事・リニューアル工事・リフォーム工事
リノベーション工事・塗装工事・防水工事

創業 73年 左官工事のパイオニア

株式会社 根子左

〒310-0851 茨城県水戸市千波町2830番地の5
TEL.029-241-4057(代表) FAX.029-241-7071
URL <http://www.nekosa.co.jp/>

建築士個人の賠償責任のリスクに備えて けんばい勤務建築士用 (建築家賠償責任保険)

中途加入
随時受付中



建築士法第24条において「管理建築士の責務の明確化」第22条の3の3「建築物の延面積300㎡を超える場合、書面による契約締結が義務化」され、新たなリスクへの対応のための保険です。

けんばい勤務建築士用のメリット

- ① 年間掛金5,000円[※]で1,000万円を限度として補償できます。
- ② 建築士事務所に勤務または所属する建築士が、国内で遂行する建築物の設計業務または法適合確認業務に起因して生じた事故について、法律上の損害賠償を負担することによる損害が補償されます。

※建築士事務所の代表者は加入できません。

〈建築士個人が訴えられるケース〉

引渡し後の建物の天井裏に結露が発生し、天井化粧板が割れ落ちた。原因を調べたところ設計及び監理のミスであった。上記事例の事故において、建築士事務所の使用人の建築士個人に対して損害賠償請求がなされた際に、本保険の対象となります。



〈引受保険会社〉東京海上日動火災保険株式会社(幹事保険会社)

お問い合わせ先

取扱代理店 **株式会社エイアイシー**

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-8 丸増麹町ビル2階
TEL : 03-6272-6206 FAX : 03-6272-6209

公益社団法人 **日本建築士会連合会**

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館5階
TEL : 03-3456-3273 FAX : 03-3456-2067
<http://www.kenchikushikai.or.jp/>

茨城県木造住宅耐震診断士養成講習会、初の動画視聴方式で開催！

令和3年8月4日に予定していた茨城県木造住宅耐震診断士養成講習会が、COVID19の茨城県内の感染拡大により、政府のまん延防止等処置区域及び、茨城県独自の非常事態宣言地域への突然の指定により、対面での講習会は中止となり急遽オンライン収録でその動画配信を後日、行うこととなりました。そこで川又副会長と私で、茨城県庁本庁舎の20階の建築指導課内の小会議室で、配信のためのビデオ撮影に臨みました。最初は第2部、川又副会長の「例題演習・精密診断・補強方法」の撮影です。県庁側でも初めての試みで、急遽の変更であったため準備は、手探りで苦勞の跡が手に取るようにわかりました。使用したパソコンが今年度買い替えの為、スペックが低く画像ははっきりしないため、老眼の二人は画面を確認することが難しい状況でした。

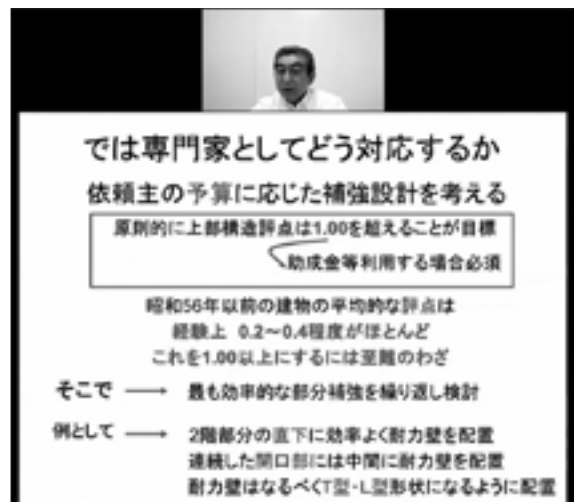
川又副会長、私、県の職員3人で収録が始まりました。県の職員もなれないせいか、係長も心配して度々のぞき込みに来てくれました。川又副会長はベテランで経験も豊富の為、難なく収録をこなしていました。

続いて、第1部、私の「総論・一般診断法・被災度区分判定概要」についての収録が始まりました。川又副会長は所要の為、先のお帰りになり収録ブースには、私と県の担当者の二人だけ、他の職員も川又副会長の収録が順調であったため安心したのか、のぞき込みにも給水にも来てくれませんでした。収録中に妙な画面が出てきたのですが、担当の職員は台本の確認に集中していたため下を向いており、収録中の私は画面のことを伝えるすべがありません。そのまま半分まで来たときに、やっと担当が気付いてくれて収録が止まりました。案の定画面に警告が出てからの四分の一は、収録できていませんでした。仕方なくもう一度取り直しです。

そのようなことがあったためか、対面の講習会より疲れた気がしました。うまくいったはずの川又副会長も疲れ切った表情でお帰りになりました。

何とか、午後1時からの撮影は、午後5時前に終了しました。新型コロナウイルス感染症の影響が、このような形で受けるとは思っても見ませんでした。

今後は、このような形の講習会も増えるかもしれません。早く収束することを祈りつつ、収録の報告とさせていただきます。



①「オフィスの整理術」

■土浦支部 赤木 裕子

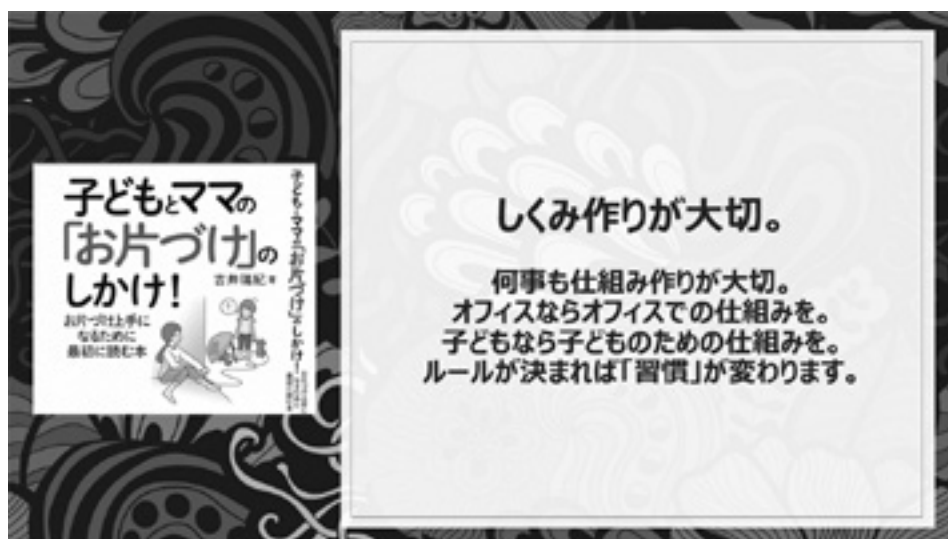
令和3年5月25日（火）『オフィスの整理術』というテーマで、群馬県在住の吉井瑞紀先生に講師をお願いしました。先生は、収納に関するたくさんの資格をお持ちで、著書『子どもとママの「お片づけ」のしかけ!』もあり、多方面でご活躍です。

今回もzoomによるリモートセミナーになりましたが、地理的に離れている先生にお願いすることができましたので、リモートも一つのメリットかもしれません。参加者は17名。リモートで移動がないため、参加できた方もいたことと思います。

セミナーは、写真とイラストがメインの分かりやすい資料に沿って、明快な説明で楽しい講義でした。オフィスといっても、小さい事務所から大企業まで状況は様々ですが、共通していえることは、『探し物は時間の無駄、お金の無駄』、効率よく仕事をするためのテクニックを教えてくださいました。

まずはデスク回りを見直す、書類や資料を平積みしない。片付けは合間ではなく仕事として考える。またハサミやホチキスなど、みんなで使用する道具類を元の場所に戻す（戻させる？）工夫など、すぐにでも実行できそうなアイデアで、勉強になりました。

さてさて、気になるのはその後皆様のオフィスはどうなりましたでしょうか？我がデスクは捨てても捨てても次々に送られてくる郵便物と資料で、相変わらず山積みになっています。でも若干山が低くなりましたので、セミナーの効果があったことと思うことにしましょう。



②『これから求められる換気&除菌』 ～省エネと換気・除菌の必要性～

■ 筑波支部 若柳 綾子

6月23日（水）夜7時から表記のタイトルで9名の参加者により実施した。コロナ禍の為ZOOMでの研修も準備はしたがこの頃一瞬蔓延防止もなく、久々に互いの顔を合わせたいという要望も聞こえてきてリアルとなった。特に除菌などの機能向上を求められている換気については、ご時世もあり皆様食い入るように聴き入っていた。講師はダイキンHVACソリューション（株）の伊藤昌紀氏。

初めに“換気編”全熱交換機の顕熱＝温度と潜熱＝湿度の交換をする装置内部の仕組みを学んだ。ただのファンによる排気は省エネには反することを改めて摺りこまれた。限られた予算に負けず今後優先的に提案していきたいものである。

次に“除菌”様々な技術による空気清浄機があるが、今回は放電の分解力による除菌・除臭・ホルムアルデヒド除去が出来る“ストリーマ技術”について科学的な裏付けを学んだ。このメーカーでは空調機に内蔵させて、温度湿度の調整とともに空気をきれいに保つ装置としての提案をしている。一挙3得である。エビデンスもしっかりしていて、講義は大変面白かった。

今後住宅設計などに於いて、顧客の健康志向に応えられるパーツの一つとして、様々な選択肢の中から、自信をもって提案していけると思うし、環境配慮の上からもそう願っています。



③「建物の法律家による、建物改修・活用のための建築法規講座」

■土浦支部 西原 有希子

2021年7月29日、各自の自宅等（ZOOM）にてわくわくセミナーを行いました。

講師としてお呼びしたのは、佐久間悠（さくまゆう）先生。既存建築物の改修等に特化した事務所を経営され、また、既存建築物の改修等の著作物を執筆されている方です。

既存建築物を…というだけで、少し身構えてしまいがちですが、佐久間先生は様々な問題をクリアしつつ、かつ手を加えることによって価値を上げることに成功されていました。

前半は、法的な検討の仕方をご説明頂き、現行法に照らし合わせると、計画によっては莫大な費用が無駄にかかってしまう原因や、法的に設置できない等々のとりかかる時点での、問題点の解説をしていただきました。

後半は、佐久間先生自身の実物件の写真を見ながら前半で解説していただいた法的根拠と照らし合わせながら、どの様にアプローチをし、様々な解決方法を実例で見せて頂きました。

既存建築物に携わることへの素晴らしさと、素敵な事例を見ることによってもう少し既存建築物に対して踏み込んだ提案をしてみたいと思いました。



The image shows a screenshot of a Zoom meeting. At the top, there is a grid of 15 video thumbnails showing various participants. Below the grid, there are two name labels: "マツダユウコウ / ..." and "kimura kazunari". In the bottom right corner, there is a vertical strip of four video thumbnails. The main part of the image is a presentation slide with the following text:

既存不適格緩和とは？
既存不適格の法文はツンデレ。

- ・法三条2項（デレ）
- ・法三条3項三号（ツン）
- ・法八十六条の七（デレ）
- ・令137条～137条の15（デレの内容）



「埋蔵文化財セミナー」

■行方支部 金子 雅代

令和3年7月30日（金）に「埋蔵文化財セミナー」を茨城県総合福祉会館にて開催致しました。通常参加者は15名程度なので収容人員40名の小研修室を使用するのですがコロナ禍ということで3密を避けるため収容人員80名の中研修室を使用致しました。検温、マスクの着用、入室時の消毒にて感染防止に努めました。また、飲み物は用意いたしましたが持ち帰りをお願い致しました。

セミナーですが、「埋蔵文化財とは？」から説明して頂き、文化財保護法において建築しようとする土地が埋蔵文化財包蔵地内と確認されると着工の60日前までに教育委員会委員長に届出の義務があり、

その手続き等に関する詳細を説明していただきました。水戸市の埋蔵文化財行政の実態で具体的に本発掘調査になった実例をあげて頂き調査の実態や期間も分かりました。水戸市の場合は自己用住宅が本発掘調査になった場合は市で費用を負担していただける事や試掘調査に対する担当者の思いも聞くことが出来ました。施主の事情に寄り添いたいとの思いがありますので何かありましたら埋蔵文化財センターに事前にご相談ください。とのことでした。

講師を務めて頂きました水戸市歴史文化財課埋蔵文化財セミナーの米川様ありがとうございました。





信頼と安心の住まいを目指す

一般財団法人 茨城県建築センター

住まいづくりに関する手続きを一元的に扱っています。
迅速な対応とともに、サービスの提供として次のことを行っています。

- ☆ **「WEB申請」**を行っております。
- ☆ 当センターのご利用の多いお客様には
「建築確認手数料の後納制度」があります。
- ☆ **「レターバック等にて確認申請」**を受付けております。
確認引受書と併せて新しいレターバックを返却させていただきます。

1 建築確認・検査業務

業務の範囲

- 全ての建築物の確認(ルート2審査対応)、中間検査及び完了検査
- 建築設備、工作物の確認及び完了検査
- 仮使用の認定手続き

完了検査率アップ!
検査済証は適法建築物の証です。

2 住宅瑕疵担保責任保険業務

- まもろすまい保険(統括事務機関) 住宅保証機構(株)
- あんしん住宅瑕疵保険(取次店) (株)住宅あんしん保証
- JIOわが家の保険(取次店) (株)日本住宅保証検査機構
- ハウスプラスすまい保険(取次店) ハウスプラス住宅保証(株)

3 フラット35適合証明業務

- 住宅金融支援機構の融資住宅による設計審査・現場審査業務



<http://www.ibakenju.or.jp/>

4 住宅性能評価業務

住宅性能評価制度のメリット

- 住宅の性能の相互比較が出来ます
- 設計どおりの施工がされるよう第三者機関(当センター等)による検査が受けられます
- 円滑・迅速で専門的な紛争処理が受けられます

5 長期優良住宅技術的審査業務

6 低炭素建築物技術的審査業務

7 BELS評価業務

8 省エネ適合性判定業務

9 省エネ関連技術的審査業務

10 構造計算適合性判定業務

11 建築技術の啓発・情報提供業務

- 住宅・建築に関する相談のできるコーナーを本部及び県南事務所に設けています
- 毎月第1・第3土曜日10:00~16:00(12:00~13:00昼休み)



本部・県南・県西事務所のいずれも
直接受付・確認いたします。

営業時間/平日の9:00から18:00まで
(第1・第3土曜日は16:00までです。)

■本部事務所(水戸市)
〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30

TEL.029-305-7300 FAX.7310

■県南事務所(つくば市)
〒300-2655 茨城県つくば市島名2920(万博公園西F28街区6)

TEL.029-886-3211 FAX.3212

■県西事務所(古河市)
〒306-0125 茨城県古河市仁連1921-4

TEL.0280-75-2600 FAX.2603



三上建築事務所

Kazuhiko Mashiko Architect & MIKAMI Architects

所長 益子一彦

www.mikami-arc.co.jp

水戸オフィス 〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-4-36

3-4-36 Ohmachi, Mito-city, Ibaraki, 310-0062 Japan

TEL +81-29-224-0606 FAX +81-29-226-3778

東京オフィス 〒110-0015 東京都台東区東上野 1-1-1 O&K1.1.1ビル 4階

O&K1.1.1 Bldg., 4F, 1-1-1 Higashiueno, Taito-ku, Tokyo, 110-0015 Japan

TEL +81-(0)3-5817-8184 FAX +81-(0)3-5817-8194

九州オフィス 〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央 3-14-31 サンフィールド佐賀 401号

Sunfiled Saga, 401, 3-14-31 Ekimaechuo, Saga-city, Saga, 840-0801 Japan

TEL +81-(0)952-37-7630 FAX +81-(0)50-3730-7134



筑西市立五所公民館

OOMA 株式会社 大山都市建築設計

Oyama Office for Metropolitan Architecture

<http://www.ooma.co.jp/>

〒309-1106 茨城県筑西市新治1996-56

TEL. 0296-21-7005 FAX. 0296-21-7006

E-mail: info@ooma.co.jp

OOMA-MITO 水戸設計室

〒310-0041 茨城県水戸市上水戸3-5-15-102

TEL. 029-291-6340 FAX. 029-291-6341



設計 & 監理

株式会社 柴 建築設計事務所

水戸市泉町3-1-28 第二中央ビル7階
TEL.029-227-0222 [代]
FAX.029-231-0960



一般社団法人
茨城県建築士会
<https://i-shikai.com>

